

平成30年2月9日

上場会社名 株式会社アルファ

上場取引所 東

コード番号 3434 URL <http://www.kk-alpha.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川名 祥之

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 斉藤 雄一

TEL 045-787-8401

四半期報告書提出予定日 平成30年2月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無 (機関投資家・アナリスト向け個別ミーティング有)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	43,591	23.2	2,348	6.7	2,401	54.4	1,184	—
29年3月期第3四半期	35,383	△4.5	2,200	80.9	1,555	102.4	△106	—

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 2,289百万円 (—%) 29年3月期第3四半期 △3,098百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	123.95	—
29年3月期第3四半期	△11.14	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第3四半期	53,621	27,779	50.4	2,828.49
29年3月期	54,497	25,865	46.0	2,624.97

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 27,019百万円 29年3月期 25,075百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
30年3月期	—	15.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	58,000	13.6	3,250	10.2	3,000	46.1	2,000	539.0	209.36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(2)「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(3)「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期3Q	10,200,000 株	29年3月期	10,200,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

30年3月期3Q	647,477 株	29年3月期	647,477 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期3Q	9,552,523 株	29年3月期3Q	9,552,523 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は435億91百万円と前年同四半期に比べ、82億7百万円（23.2%）の増収となりました。利益につきましては、営業利益は23億48百万円と前年同四半期に比べ、1億48百万円（6.7%）の増益となりました。経常利益は24億1百万円と前年同四半期に比べ、8億45百万円（54.4%）の増益となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、11億84百万円と前年同四半期に比べ、12億90百万円（前年同四半期は親会社に帰属する四半期純損失1億6百万円）の増益となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

なお、前連結会計年度において、第2四半期連結会計期間より、ASSA ABLOY ABからの事業譲受のために株式取得したAlpha Vehicle Security Solutions Czech s. r. o.、ALPHA INDUSTRY PUEBLA, S. A. DE C. V. 及びALPHA (SUZHOU) VEHICLE SECURITY SOLUTIONS CO., LTD. を連結子会社として連結範囲に含めました。これにより、報告セグメントのうち自動車部品事業について従来の「日本」、「北米」及び「アジア」の3区分から、「日本」、「北米」、「アジア」及び「欧州」の4区分に変更しております。そのため「欧州」については前期比較を行っておりません。

① 自動車部品事業（日本）

自動車部品事業（日本）は、主要得意先において生産台数・販売台数ともに減少したこと等により、売上高は89億11百万円と前年同四半期に比べ、3億95百万円（ $\Delta 4.2\%$ ）の減収となりましたが、生産合理化等により、営業損失は1億3百万円（前年同四半期は営業損失2億71百万円）となりました。

② 自動車部品事業（北米）

自動車部品事業（北米）は、米国では前期に比べ売上減少となりましたが、メキシコでは売上好調が続き、売上高は107億94百万円と前年同四半期に比べ、10億71百万円（11.0%）の増収、営業利益は9億74百万円と前年同四半期に比べ、2億70百万円（38.5%）の増益となりました。

③ 自動車部品事業（アジア）

自動車部品事業（アジア）は、中国での売上好調が続き、売上高は147億16百万円と前年同四半期に比べ、13億64百万円（10.2%）の増収となりましたが、材料価格が高騰したこと等により、営業利益は7億8百万円と前年同四半期に比べ、3億15百万円（ $\Delta 30.8\%$ ）の減益となりました。

④ 自動車部品事業（欧州）

自動車部品事業（欧州）は、売上高は60億18百万円、営業損失は61百万円となりました。

⑤ セキュリティ機器事業（日本）

セキュリティ機器事業（日本）は、ロッカーオペレーション事業が好調に推移し、また賃貸・戸建住宅向け電気錠の採用が順調に推移したことに伴い、売上高は61億76百万円と前年同四半期に比べ、2億31百万円（3.9%）の増収となりましたが、為替影響により、営業利益は6億35百万円と前年同四半期に比べ0百万円（ $\Delta 0.1\%$ ）の減益となりました。

⑥ セキュリティ機器事業（海外）

セキュリティ機器事業（海外）は、売上高は28億70百万円と前年同四半期に比べ、5億96百万円（26.2%）の増収、営業利益は1億75百万円と前年同四半期に比べ、1億15百万円（191.9%）の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は536億21百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億76百万円の減少となりました。また、有利子負債は前連結会計年度末に比べ、21億61百万円減少し、120億86百万円となりました。

流動資産は、現金及び預金が21億55百万円減少したことや、原材料及び貯蔵品が5億92百万円減少したこと等により、18億89百万円減少し、278億82百万円となりました。

固定資産は、投資有価証券が7億14百万円増加したことや、有形固定資産が3億23百万円増加したこと等により、10億2百万円増加し、257億18百万円となりました。

流動負債は、支払手形及び買掛金が9億61百万円減少したことや、短期借入金が18億16百万円減少したこと等により、21億55百万円減少し、160億12百万円となりました。

固定負債は、長期借入金が12億97百万円減少したこと等により、6億34百万円減少し、98億29百万円となりました。

純資産は、利益剰余金が8億97百万円増加したことや、その他有価証券評価差額金が4億85百万円増加したこと等により、19億13百万円増加し、277億79百万円となりました。

以上により、自己資本比率は前連結会計年度末の46.0%から4.4ポイント増加し、50.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、平成29年5月11日決算発表時の公表値を修正しております。詳細につきましては、本日開示の「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,774	6,619
受取手形及び売掛金	11,796	12,059
商品及び製品	1,415	1,815
仕掛品	852	922
原材料及び貯蔵品	4,820	4,227
その他	2,114	2,239
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	29,772	27,882
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,994	5,055
機械装置及び運搬具（純額）	4,784	4,937
工具、器具及び備品（純額）	2,199	2,138
土地	1,572	1,596
その他（純額）	2,620	2,767
有形固定資産合計	16,171	16,495
無形固定資産		
のれん	1,116	1,045
その他	827	802
無形固定資産合計	1,944	1,848
投資その他の資産		
投資有価証券	5,024	5,739
その他	1,575	1,635
投資その他の資産合計	6,600	7,374
固定資産合計	24,716	25,718
繰延資産	8	20
資産合計	54,497	53,621
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,715	6,754
短期借入金	5,376	3,559
未払法人税等	331	507
賞与引当金	565	376
製品保証引当金	84	65
その他	4,093	4,748
流動負債合計	18,168	16,012
固定負債		
社債	440	1,280
長期借入金	6,035	4,738
退職給付に係る負債	58	61
資産除去債務	42	42
その他	3,887	3,706
固定負債合計	10,463	9,829
負債合計	28,631	25,841

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,760	2,760
資本剰余金	2,952	2,952
利益剰余金	16,024	16,921
自己株式	△578	△578
株主資本合計	21,158	22,055
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,874	3,359
為替換算調整勘定	1,042	1,603
その他の包括利益累計額合計	3,916	4,963
非支配株主持分	790	760
純資産合計	25,865	27,779
負債純資産合計	54,497	53,621

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	35,383	43,591
売上原価	28,701	35,367
売上総利益	6,682	8,223
販売費及び一般管理費	4,481	5,874
営業利益	2,200	2,348
営業外収益		
受取利息	67	38
受取配当金	81	73
その他	156	134
営業外収益合計	305	246
営業外費用		
支払利息	142	145
為替差損	765	0
その他	42	47
営業外費用合計	950	193
経常利益	1,555	2,401
特別利益		
固定資産売却益	12	4
特別利益合計	12	4
特別損失		
固定資産除売却損	32	20
投資有価証券評価損	10	—
米国反トラスト法関連損失	971	—
訴訟和解金	—	411
その他	85	—
特別損失合計	1,100	431
税金等調整前四半期純利益	467	1,974
法人税、住民税及び事業税	663	737
法人税等調整額	△151	1
法人税等合計	512	738
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△44	1,235
非支配株主に帰属する四半期純利益	61	51
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△106	1,184

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△44	1,235
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	238	485
為替換算調整勘定	△3,291	568
その他の包括利益合計	△3,053	1,054
四半期包括利益	△3,098	2,289
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△3,017	2,230
非支配株主に係る四半期包括利益	△80	59

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自平成28年4月1日至平成28年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント							調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	自動車 部品事業 (日本)	自動車 部品事業 (北米)	自動車 部品事業 (アジア)	自動車 部品事業 (欧州)	セキュリテ ィ機器事業 (日本)	セキュリテ ィ機器事業 (海外)	計		
売上高									
外部顧客への売上高	7,308	9,542	12,321	—	5,893	317	35,383	—	35,383
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,998	180	1,029	—	51	1,956	5,215	△5,215	—
計	9,306	9,722	13,351	—	5,944	2,274	40,599	△5,215	35,383
セグメント利益又は損失(△)	△271	703	1,024	—	635	60	2,151	48	2,200

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額48百万円は、セグメント間取引消去48百万円であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成29年4月1日至平成29年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント							調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	自動車 部品事業 (日本)	自動車 部品事業 (北米)	自動車 部品事業 (アジア)	自動車 部品事業 (欧州)	セキュリテ ィ機器事業 (日本)	セキュリテ ィ機器事業 (海外)	計		
売上高									
外部顧客への売上高	6,674	10,512	13,726	5,956	6,144	577	43,591	—	43,591
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,236	282	989	62	32	2,292	5,895	△5,895	—
計	8,911	10,794	14,716	6,018	6,176	2,870	49,487	△5,895	43,591
セグメント利益又は損失(△)	△103	974	708	△61	635	175	2,328	19	2,348

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額19百万円は、セグメント間取引消去19百万円であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

前第2四半期連結会計期間より、ASSA ABLOY ABからの事業譲受のために株式取得したAlpha Vehicle Security Solutions Czech s. r. o.、ALPHA INDUSTRY PUEBLA, S. A. DE C.V.及びALPHA (SUZHOU) VEHICLE SECURITY SOLUTIONS CO., LTD.を連結子会社として連結の範囲に含めております。これにより、暫定的に算定されたのれん613百万円を計上しておりましたが、取得原価の確定及び取得原価の配分が完了したことから、「自動車部品事業(欧州)」セグメントにおいて、444百万円に変動しております。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの追加)

前第2四半期連結会計期間より、ASSA ABLOY ABからの事業譲受のために株式取得したAlpha Vehicle Security Solutions Czech s. r. o.を連結子会社として連結の範囲に含めたことに伴い、報告セグメント「自動車部品事業(欧州)」を新たに追加しております。